

畠山町長が施政方針を発表

民経済生活の策定を中心
に町の行政をすすめるこ

が、義務教育、社会教育及び高等学校教育の一貫した教育の場を通して住民の学習をすすめて、停滞しがちな東北農村に共通のふん囲気を強い人間関係のきずくことと新しい町民性を築くことをもって長期町民経済生活の方向を確立しなけたばならないと確信しております。

そのために、まず近接町村と協力して合川町に秋田短期大学付属高等学校を誘致し、時代に即応した教育の場を樹立するものであります。

これに關しては秋田短大の元締である日本大学本部と完全な意見の一致み、また小畑知事による協力の確約、いよ町民の与言を

に全力を集中する覚悟であります。

もちろんこれに呼応して小阿仁川水系を主体とした山添地帯の住民生活の安定方策として、国有林の利用等についての推進もあわせ、平坦地域の区画整理によつて生産体系の合理化を促進するものであり、また大野台には一貫した加工工場に直結した生産方式の確立を行なう方針であります。

かくして農村商工業の発達についての具体的な施策をはかるため、町に調査室を設置し、それに必要な資料と情報のしめう集を行なつて町政に新風をもち、人材の適材適所を貫いて一貫した町

目標への学習と協力によつてのみ可能であることは当然でありまして、私は身命をとじて町民の付託に答えることを確約するものであります。

町議会の絶大なる賛意を期待するものであります
(九月二十九日九月定例町議会本会議における特別施政方針)

北小学校長
に梅村氏

教育委員会は三日校長異を発令したが、欠員中であつた北小学校長に鷹巢中学校校頭梅村家太郎氏(四)がまゐつた。

お、西小を
学校
町

[illegible]

会が九月二十日午後一時
ら役場において行なわれ
の十七人が審査員として
本戸石、博長女
山田、紀喜

(写真は赤ちゃん審査風景)

あつたときに年金をもら
から御注意下さい。
なお、係では近日中に各
人の促進にあたることに
近くから出ている役場職
(二〇歳―三四歳までは
月百五十円)を添えて頼
手続きをとってくれます
さい。
また、所得がないとか、
ても納めるに困難な方は
もありますので、手帳と
談にお出で下さい。
保険料を滞りなく納めて
は大変なことです。が、
万が一の緊急に對す
いたしましょう。

若さで築く 老後の

町

ないことになります
落を戸別訪問して納
っておりますが、お
の方に手帳と保険料
目円、三五歳以上は
で下さっても納付の
らどしとし御利用下
他の理由でどうし
探險料免除」の制度
鑑をもつて係まで

心「国民年金」
謀国民年金係

い開校を期するものであります。

もちろん私は、この実現によって昭和三十七年度中に工業系統の科の設置を検討し、さらにその関連によって現在想定される一連の工場を誘致し、

私の方針は、現在まで町民の学習を通じて町政に反映された声をまとめ、町民が何を考えているかを集約したものであると確信するものであります。もちろん町勢の発展は逸

橋架替費八百二十一万五
円、開拓道路補修費八十
万七千円などを中心とし
追加更正予算である）
◇合川中学校建築特別会

次支出の方法について
南地区各部落へ保育所建
賃金の内の二百万円を明
度から四カ年で償還する
(と)

国民年金

だより

(第一期分)四、五
限)をお納めになり
ていなかったら今か
たしましょう。

か老齢になったとき

七二番、同一七三番、鎌
字石淵二四の一、同四二
三、同四三の六、鎌沢字
小屋沢一の一）
◇土地賃貸借契約の締結
合川中学校グラウンド用地
として六反六二五を借用す
こと）
◇予算外義務負担（農民
自主的共同体化によって農
所得の増大をはかるため

秋田県農業振興資金融通
度要綱」にもとずく融資
行ならん秋田県信連および
大野農協へ損失補償をな
こと）

◇町立南保育所の設置
昭和三十六年度において
木田へ町立南保育所を新
ようとする（こと）

◇建築用木材払下げ申請
南保育所建築工事用木材

計載入歳出予算（国庫負
 七十万円、県支出金三十
 万円の、一般会計繰入金二
 万円の、計三百五十万円の財
 源からなっている）
 ◇昭和三十六年度合川町
 人歳出予算（新出目橋災
 復旧費九百万円、孫七沢
 復旧費六十万円、客

工事請負契約の締結による
交付木材費の確定による
替を主としたもの）
寄付採納について（昭
三十六年度町一般財政資
として南地区各部落代表
名で二百万円（保育所建
）三木田部落代表から
方円（孫七沢橋災害復旧
寄付）を採納した）
小計外、義務負担並ぐに

由るみ子―李俊叔男長女
木真理子―木戸石、誠之
助長女

日 国体旗リレー
日 高松誘致委員会
日 孫十郎
日 修の工事
日 略

さあ！
赤い羽根に！

町の目標額は
198.990円

ご協力を
合川町共同募金会

偶 浩 〓 駅前、久男長男
而重人 〓 三木田重男長男
淵恵里子 〓 雪田幸三二女
田明美 〓 李岱、行雄二男
藤ルリ子 〓 上杉、巖長女
出節子 〓 上杉、經夫長女
藤比奈子 〓 木戸石、昭次
郎長女
藤末美 〓 新田目、昇長女
藤京子 〓 上杉、俊男長女
田力カヲ 〓 駅前、慎八郎
二女
田正弘 〓 下杉松三郎長女
清幸 〓 大内尺定美長男

町政メモ

19日 敬老式

○ 赤ちゃんコンクール

○ 議会全員協議会

○ 萩形ダム対策委員会

○ 学校建築委員会、議

会運営協議会

○ 九月定例町議会開く

○ 九月定例町議会

昭和36年度予算からみた事業の実施計画とその財源内訳は次のとおりである。

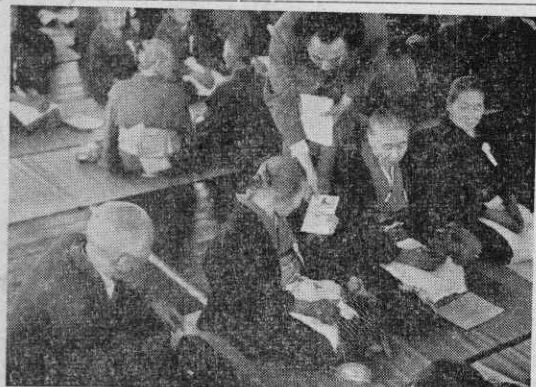
区 分 事業名	事業費	財 源 内 訳					
		国庫 支出金	県支 出金	地方債	分担金	特定 財源	一般財源
1. 普通建設事業	21,174	3,960	2,058	4,200	450	300	10,206
①補助分	17,047	3,960	2,058	4,200	270	300	6,259
合川中学校建築事業	11,461	3,960	—	3,200			4,301
基本財産造成事業	1,999		289	1,000		300	410
消防施設整備事業	610		180		270		160
農業振興対策事業	830		133				697
酪農振興対策事業	2,147		1,456		180		691
②単独分	4,127						3,947
蚕記所建築事業	1,562						1,562
学校施設整備事業	1,203				180		1,203
消防施設整備事業	360						180
都市計画事業	128						128
開田調査事業	204						204
保育所整備事業	670						670
2災害復旧土木事業	308						308
3. 災害対策事業	1,648	1,018					630
合 計	23,130	4,978	2,058	4,200	450	300	11,144

5. 町債現在高と年度内償還

公共事業費の一部を国から長期返済で借入した町債の現況は次のとおり

(単位 千円)

町 債 区 分	昭和35年度 未現在高	昭和36年度元利償還額	
		元 金	利 子
一 般 補 助 事 業 債	7.056	325	430
災 害 復 旧 事 業 債	6.320	649	388
義務教育施設整備事業費	5.191	416	321
診療所建築事業債	4.202	726	260
簡易水道布設事業債	384	17	25
一 般 単 独 事 業 債	11.601	566	722
計	34.754	2,699	2,146



(写真は敬老年金を贈る畠山町長 敬老会風景)

ことしの町敬老式は、秋晴れの九月十九日東中学校において行なわれ、高齢者をはじめ来賓多数が参加して盛況裏におわった。

すがすがしいすみきった秋会いした大多数の人達と会

元気でまた来年も

敬老会盛會裏に終る

年もまた会ふことができて
 嬉しく思います。そして来
 年も皆なとお会いできるよ
 う、なお一層長生きにつと
 めて下さい。今日は皆さん
 にとって一年中の一番楽し
 い日であるよう祈つていま
 す。」とあいさつ、敬老年
 金、庭ぶとん（町から）茶
 筒（県から）などの記念品
 がおくられ、来賓の祝辞の
 日」を惜みな、楽しみ、夕

あと、高齢者を代表して今
 年から仲間入りした町議会
 の松橋議長さん（宅急便）三三
 から謝辞がのべられ、引き
 続き一献かたむけながら可
 愛いお孫さん達の演奏を楽
 しみ、はては自分でもマイ
 クの前にとび出して若かり

永井章子、上杉、常治、孫
 関 幸一、上杉、由松、孫
 木村正昭、下杉、運吉長男
 村形 一、川井、重吉、孫
 佐藤由美子、川井金助二女
 畠山勝春、木戸石、吉松孫
 長岐千穂子、木戸石忠助孫
 高橋純子、八重子
 奈良昌典、

出 生（二五）

やみ迫るころ「また来年……」の合言葉に帰途についた。

なお、今年の敬老会該当者は男五八、女八八、計一四六人であった。

木村加三、沢橋、開我道、松岡和也、三浦祐子、三木田正長、成田淳子、大内沢秀雄、長女高谷留美子、芹沢惣之助、孫芹田一昭、芹沢、弥市、孫

御厚志 李岱婦人 後藤スユ、下杉、力三郎母
会(代表 高橋ユキ、下杉、友吉、婦
者成田シゲさん)では、祭
典余興収入の内から金二千
円也を町社会福祉協議会へ
ご寄付くださった。

成田官松、李岱、本人
鈴木アキ、福田、本人

慶弔だより

自九月一日
至三十日

永井章子、上杉、常治、孫
関 幸一、上杉、由松、孫
木村正昭、下杉、運吉長男
村形 一、川井、重吉、孫
佐藤由美子、川井金助二女
畠山勝春、木戸石、吉松孫
長岐千穂子、木戸石忠助孫
高橋純子、八番
奈良昌典、
木村加平、沢橋、開我道女
松岡和也、
三浦祐子、三木田正、長女
成田淳子、大内沢秀雄長女
高谷留美子、芹沢惣之助孫
芹田一昭、芹沢、弥市、孫

死、亡 (一〇)

後藤スエ、下杉、力三郎母
高橋ユキ、下杉、友吉、婦
吉田藤子、川井、本人
佐藤仁一、川井、重一、父
成田宮松、李岱、本人
鈴木アキ、福田、本人
福岡作治、三里、本人
金田弥吉、西根田、本人
金田良治郎西根田文助三男
成田進、駅前、守治、二男

町の財政報告から
ことしの予算仕組など

さきに公表された昭和三十六年上半年における町の財政事情から昭和三十六年度の予算仕組みと、その執行状況を紹介します。本年度の予算は財政の分散を集約投資によって教育方針の確立による教育の充実と町民経済のはあくにもとづく町的民生活に即応した長期経済計画との重点施政方針にもとづいたものであり、町民皆様のご理解と、なお一層のご協力を願いたい。

昭和36年度予算施行の状況

① 一般會計

(単位千円)

4月1日より6月30日までの一般会計の予算構成と執行状況は次のとおりである。

歳 入 の 部			歳 出 の 部		
款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
町 税	24,487	3,769	議 会 費	2,312	124
地 方 交 付 税	32,471	17,184	役 場 費	15,474	3,652
財 産 収 入	774	57	消 防 費	3,003	582
分担金及負担金	1,018	179	土 木 費	2,413	305
使用料手数料	526	117	教 育 費	15,300	2,344
国庫支出金	2,873	—	社 会 労 働 費	7,791	1,470
県 支 出 金	3,606	—	保 健 衛 生 費	1,268	5
寄 付 金	488	180	産 業 経 済 費	5,787	334
繰 越 金	1	1,388	財 産 費	4,305	1,656
雑 収 入	1,760	19	統 計 調 査 費	73	
起 債	1,000	—	選 挙 費	68	
			公 債 費	5,138	
			諸 支 出 費	5,572	
			予 備 費	500	
計	69,004	22,893	計	69,004	

② 特別會計

一般会計から分離して別にそれぞれの事業目的により、収支経理を行なつて特別会計予算の執行状況は次のとおりである。(単位千円)

(単位千円)

会 計 別	歳 入 の 部		歳 出 の 部	
	予算現額	収入済額	予算現額	支出済額
国民健康保険特別会計	16,820	2,725	16,820	
国保直営診療施設特別会計	17,169	4,636	17,169	4,636
町立合川中学校建築特別会計	11,461	101	11,461	
牧野改良事業特別会計	1,215	—	1,215	
基本財産蓄積特別会計	351	8	351	8
計	47,016	7,470	47,016	7,470

③ 普通會計歳出の性質

昭和36年度の一般会計、合川中学校建築特別会計予算の歳出を性質(円)と次のとおりである。

性 質 別	予 算 額	構 成 比	摘 要
1. 人 件 費	22,995	302	
①議員、委員等報酬手当	1,883	26	
②町長外職員の給与	12,832	168	町長外職員の給与及扶養手当
③諸 手 当	4,483	59	町長外職員に対する諸手当
④恩給共済組合等負担金	2,433	32	恩給、共済、職手当各組合の負担金
⑤そ の 他	1,364	18	①②③④以外の非常勤職員等に対する手当
2. 物 件 費	19,281	253	
①旅 費、費用弁 償	2,135	28	議員、三役、一般職員の旅費
②交 際 費	750	10	議長、町長、消防団長、教育長、委員会長の交際費
③食 糧 費	1,714	23	諸会合、来賓等の食糧代
④消 耗 品 費	2,886	38	役場、学校等の消耗品代並に国民年金諸紙代
⑤印 刷 製 本 費	565	7	印刷物代
⑥通 信 運 搬 費	584	7	郵便及び電話料
⑦燃 料 費	1,639	22	役場、学校等の木炭、薪
⑧備 品 費	2,362	31	役場、学校、消防団等、備品等の備品代
⑨そ の 他	6,646	87	賃金、光熱水費、借料、広告料、筆耕料等
3. 維 持 補 修 費	648	8	
①道 路、橋 梁	308	4	道路、橋梁の修繕
②庁 舎 等	340	4	役場、学校、住宅繕料
4. 扶 助 費、補 助 費 等	2,873	38	予防救治費並に種団体負担金
5. 普 通 建 設 事 業 費	21,174	278	
6. 災 害 復 旧 事 業 費	308	4	橋梁災害復旧費
7. 災 害 対 策 事 業 費	1,648	22	
8. 公 債 費	5,138	67	町債元利還金及び一時借入金
9. 出 資 貸 付 金	100	1	秋田信用証組合出損金
10. 繰 出 金	1,500	20	国保会館並に診療施設会計繰出金
11. 予 備 費	500	7	
計	76,165	1,000	